

## 佐々木糸さん 百歳を祝福



↑佐々木さんへ賀寿や記念品などを贈呈

2月1日、佐々木糸さん(大正8年1月25日生まれ)が100歳を迎えられたことを祝い、埼玉県越谷市指定介護老人福祉施設で広野町、広野町社会福祉協議会、広野町老人クラブ連合会、福島県からの賀寿贈呈が行われました。役場職員が代読で、福島県知事の賀寿および記念品の贈呈、広野町長の賀寿および特別敬老祝金の目録を贈呈しました。その後、根本衛広野町社会福祉協議会副会長、大和田高男広野町老人クラブ会長が記念品を贈呈し、お祝いの言葉を贈りました。佐々木さんは「遠方よりお越しになられ、このようなお祝いをいただきありがたく思っています。」と話されました。

## 友情ネットプロジェクト巡回指導



↑齋藤さんの指導を受けた女子バレーボール部

2月2日、元全日本バレーボール選手で広野夢大使でもある齋藤信治さんが友情ネットプロジェクト巡回指導のため来町されました。友情ネットプロジェクトは、新日鐵住金株式会社東北支店が発起人となり、福島県の将来を担う子どもたちにバレーボールを通じて「仲間を想う気持ち」を育み、友情の輪を広げ、たくさんの思い出を作りたいと福島の復興を支える子どもたちを応援するプロジェクトです。今回、第6期校として広野中学校の女子バレーボール部へ巡回指導しました。

## 経済協力開発機構(OECD)と意見交換



↑意見交換の様子

2月14日、経済協力開発機構(OECD)の関係者が広野町役場を訪れました。経済協力開発機構(OECD)は、先進国間の自由な意見交換・情報交換を通じて、①経済成長、②貿易自由化、③途上国支援に貢献することを目的とした国際機関です。

震災直後の状況や現在取り組んでいる事業、町の今後の展望などについて意見交換を行いました。

## 広野町自殺対策推進協議会委員委嘱状交付式



↑委嘱状交付式の様子

2月22日、広野町自殺対策推進協議会委員委嘱状交付式を実施しました。本協議会は、福祉機関、保健機関、教育機関などの関係機関および関係団体の相互の連携を確保し、本町における自殺対策を総合的に推進し、自殺防止を図るため設置されました。今後、本協議会委員の方々で議論し、広野町自殺対策計画が策定され、自殺者ゼロを目指した取り組みが進められていきます。

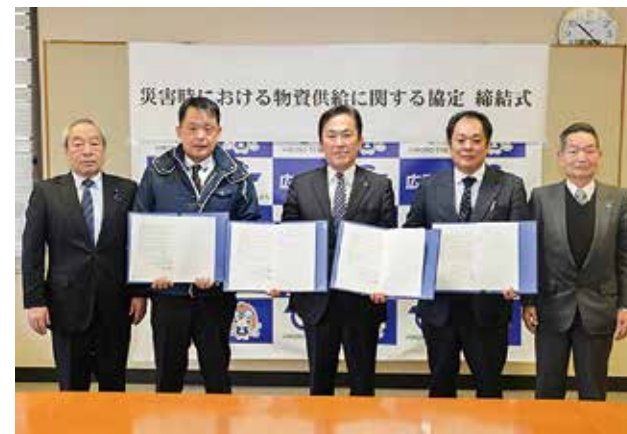
## 磯崎仁彦経済産業副大臣が視察来町



↑バナナ栽培事業の説明を受ける磯崎経済産業副大臣(写真右)

2月8日、磯崎仁彦経済産業副大臣が広野町を訪れ、東日本大震災と東京電力福島第一原子力事故からの復興の現状を視察しました。磯崎経済産業副大臣は、未来の架け橋から駅東側の復興状況やふたば未来学園の寄宿舎建設工事などの説明を遠藤町長より受け、その後、ニッ沼総合公園のバナナ栽培も視察し、遠藤町長と町振興公社中津社長から栽培方法や収穫量の見通しについて説明を受け、復興に向けた産業振興に期待を寄せました。

## 災害時における物資供給に関する協定締結



↑物資供給の支援体制を整備

2月6日、広野町は東北技研工業株式会社ニューヤマザキデイリーストア広野みらいオフィス店とセブン-イレブン福島広野町店と災害時における物資供給に関する協定を締結しました。この協定は、地震・風水害、その他の災害が発生した場合、または発生するおそれがある場合において、被災された住民に対し、食料品、飲料水、日用品、生活必需品を迅速かつ円滑に供給することを目的に締結しました。この度の協定締結により、町内のコンビニエンスストア全店舗およびイオン広野店から災害時において、被災者へ物資を円滑に供給する支援体制が整備されました。

## 第3回野菜づくりの勉強会を開催



↑野菜づくり勉強会の様子

2月9日、広野町公民館において、第3回野菜づくりの勉強会を開催しました。福島県相双農林事務所双葉農業普及所の伊東晃一主査を講師に招き、「おいしい野菜のつくり方(春・夏野菜編)」と題して講座を開催しました。町内の認定農家や自家消費野菜を栽培する町民など31人が参加し、野菜の品種ごとに適した土づくりや肥料の与え方、畑の管理方法などを学びました。本講座は、野菜づくりに興味を持っていただくとともに、より良い野菜を生産していただくことで、多くの人に広野の安心・安全な野菜を知っていただくことを目的に2年前から開催しています。

## 放射線と健康に関する講演会を実施



↑講演会の様子

2月9日、広野町保健センターで第9回放射線と健康に関する講演会を開催しました。講師は福島県立医科大学災害医療総合学習センター副センター長で広野町放射線健康管理アドバイザーの熊谷敦史先生で、これまでの広野町内の放射線量や町民の被ばく量について説明がありました。また、放射線が健康にもたらす影響を解説していただくとともに、生活習慣での健康リスクについても説明があり、日ごろの食生活や運動に留意するようお願いをいただきました。